

指定管理者モニタリングシート

令和7年5月(令和6年度実績)

施設名	刈谷市心身障害者福祉センター(刈谷市立くすのき園)		
主管部課等名	福祉健康部福祉総務課		

(1)概要

指定管理者	社会福祉法人刈谷市社会福祉協議会		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	指定方法	任意
管理業務の内容	施設の管理運営に関する業務、生活介護事業及び地域生活支援事業に関する業務		

利用状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用人数(年度末)(人)	30	31	31	29	31

(2)日常的モニタリング

実施方法		指導(随時)、月報等の確認(12回)、現地調査(4月、10月)、指定管理者へのヒアリング(10月)
実施結果	主な問題点	多様な障害者に対応できる体制を整備する必要がある。
	上記に対する指定管理者への指導・助言内容	職員の支援技術や知識の向上のための研修実施等、障害特性を考慮した支援体制を整える等、適切な支援が実施できるよう指導した。
その他特記事項		

(3)セルフモニタリング

実施方法		①主な問題点及びその対応状況 ②アンケート(毎年1月) ③保護者よりお礼
実施結果①	主な問題点	利用者の居室の天井から雨漏りが続くようになり、自閉症の特性から、それに起因して不穏になられる様子が見られた。
	上記への対応状況	令和6年12月に応急的な天井裏工事で雨漏りの対応をするとともに、補正予算を組み、大規模改修で行う予定の工程と同等の改修工事を令和7年4月より行うこととした。
実施結果②	アンケート概要	実施期間:令和7年1月 実施方法:利用者へのアンケート用紙を配布・回収 調査結果:満足55%、概ね満足41%、どちらともいえない4%
	上記への対応状況	園の運営や職員の対応について「安心して暮らせている」「話しやすく、相談しやすい」など一定の評価を得られた。今後も施設利用者・保護者に協力を仰ぎながら、できる限りのサービス提供に取り組む。
実施結果③	利用者・保護者からの反応	歩行機会が増えたことに関して、利用者は毎回よい表情を見せながら積極的に外に出る姿を見せている。保護者からも連絡帳にて「外で体を動かしてきてもらえてありがたい」等の声をいただいている。
	上記への対応状況	気軽に屋外に出られる環境がなくなっていたが、利用者を小グループ化し、ミササガパークや中山公園等の公園への歩行を増やすなどして、運動量やリフレッシュの機会を確保した。
その他特記事項		

(4)評価・今後の対応

単 年 度 の 評 価	法令等の遵守		B	管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
	適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)		A	自主事業の実施状況	B
	運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)		B	施設の維持管理状況	B
	施設の利用状況(稼動状況、事業計画の達成度など)		B	保守管理の実施状況	B
	評価の理由・今後の対応	アンケートにおける利用者の満足度は高く、利用者に対する職員の対応は適切に行われていると判断できるため。また障害の程度が重く、他の事業所では受け入れが難しい利用者を快く受け入れて頂いているため。			

(4)評価・今後の対応の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「－」とする。

- A:協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B:概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C:協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- －:実施していない。